

敦賀市教育目標

ふるさと敦賀を愛し、知性に富み、心豊かで、健康な人の育成

＜学校教育目標＞

これからの社会をたくましく生きる力を持つ児童生徒の育成

敦賀市「知・徳・体」令和プラン

知：学びを通して考える力
徳：内面を豊かにする力
体：たくましく生きる力
-子どもたち自らの「志」を育てる-

めざす学校像

一人一人の「ちがい」を認め合い、互いを「大切」にし合う学校
「わかった」「できた」を実感でき、楽しく学び合う学校
失敗から学び、より良くなろうと「チャレンジ」し合う学校

輝け角鹿

めざす児童生徒像

大きくなろう (広く豊かな心と知性のある子ども)
強くなろう (強靱な身体と精神を持つ子ども)
幸せになろう (夢や希望を持ち、その実現に向かう子ども)



めざす教師像

子どもの幸せを願い、共に歩む教師
自分事として受け止め、学び続ける教師
つながり、引き出し、高め合う教師

重点目標

未来に向けて協働し 共生する社会性の育成

- ◎互いの違いを認め合い、尊重し高め合う集団づくり
◎しなやかで強い心の育成

未来を生き抜く 心身の育成と健康の増進

- ◎安心・安全な学校づくり
◎命を守り尊ぶ生き方への共感
◎心身の健康と運動を楽しむ素地形成

未来につながる 確かな学力の充実

- ◎ツールの活用能力向上と、主体的、対話的で深い学びの実現
◎楽しく学び、力がつく授業の構築

地域と共に未来に向かう 社会に開かれた学校づくり

- ◎学びのつながりを実感し共有できるカリキュラムマネジメント
◎信頼、協働、連携による学校経営

具体的な取組

- ◎小中一貫したポジティブ教育の推進
・仲間同士が認め合い支え合う「ピアサポート活動」による集団づくり
・逆境に負けないしなやかな心を育てる「レジリエンス教育」の充実

- ◎思いやりの心の育成
・不登校の未然防止につながる「明日も通いたくなる」魅力的な学校づくり
・いじめの未然防止につながる「一人一人を大切に」人権教育の推進

- ◎「心のよりどころ」づくり
・定期的なアンケートと相談体制による「聴いてもらえる」安心感の醸成
・「大切にされている」という意識を醸成するカウンセリングマインドの浸透

- ◎自己肯定感の育成
・「自分には良いところがある」を実感できる経験の構築と承認システムづくり

- ◎安全安心な学校の構築
・「自分の命は自分で守る」という安全意識の涵養と危機回避能力の育成

- ◎「心のものさし」づくり
・健康的で自律的な生活習慣の定着と、能動的な態度の涵養
・規範意識の涵養と自ら考え行動しようとする生きる力の育成

- ◎心身の健康と体力づくり
・身体を動かす楽しさを味わわせる体育授業やクラブ活動・部活動の推進
・あらゆる運動機会を通じた基礎体力の向上と、運動の習慣化
・集会、自然体験、福祉活動などの、さまざまな体験活動の充実

- ◎学ぶ楽しさを感じられる授業づくり
・ICTをはじめとするツールの活用能力向上と、主体的に学ぶ態度の育成
・協働的な学びによる探究的な学習の充実と、学ぶ楽しさの享受

- ◎読書活動の充実
・学校図書館の活用や家庭読書の推進による「読書好き」な子の育成
・正しく読み解き、主体的に活用するメディアリテラシーの養成

- ◎失敗から学んでこそ本物
・うまくいかないことや失敗したことから学ぶ自己修正力の涵養
・確かな学力を築く家庭学習の充実

- ◎家庭・地域との信頼関係構築と連携
・計画的な学校公開や情報発信の充実
・健全なネット利用の基礎を培う情報モラル教育の推進

- ◎魅力ある学校づくりの推進
・個に目をかけ大切にしよう風土の醸成
・「つながり」や「かかわり」を大切にする異学年交流活動の充実

- ◎生き方を育むふるさと学習・キャリア学習の推進
・地域をステージとし、地域とともに育む「ふるさとを愛する心」の涵養
・夢を育み、生き方をデザインするキャリア学習の充実

成果指標

- ◎「自分には良いところがある」 →80%以上
◎「失敗して嫌になっても、あきらめずにがんばる」 →90%以上
◎「まちがいをおそれず、安心して発言できる学級」 →90%以上

- ◎「いじめ解消」 →100%
◎「不登校新規発生」 →0件
◎「学校が楽しい」 →90%以上
◎「ありがとうを伝え合う」 →90%以上
◎「人を大切にしている」 →90%以上
◎「前向きに取り組む」 →90%以上

- ◎「教科の学習が好き」 →90%以上
◎「教科の学習がわかる」 →90%以上
◎「それぞれの意見や考えを認め合える学級」 →90%以上
◎「すぐに解けない問題でも、ねばり強く解こうとしている」 →90%以上

- ◎「学校だより」 →年間10回以上発行
◎「学校HP」 →毎週更新
◎「地域の良さに気づき、地域とつながり関わろうとする」 →90%以上
◎「まわりをよりよくする」 →90%以上
◎「支えられて生きている」 →90%以上

業務改善のための取組

-「子どもたちと向き合う時間」と「教師のゆとり」づくり-
◎子どもを中心とする指導観への変換・評価方法の改善
◎日課時程・部活動時間・行事等の縮減と統合、幅広い人材活用

→ ワークライフバランスの実現 と 超過勤務45時間への挑戦
◎校務のICT化・事務処理の効率化・ペーパーレス化と会議の縮減
◎メンタルヘルスマネジメント(セルフケア、ラインによるケアの充実と相談体制の確立)